

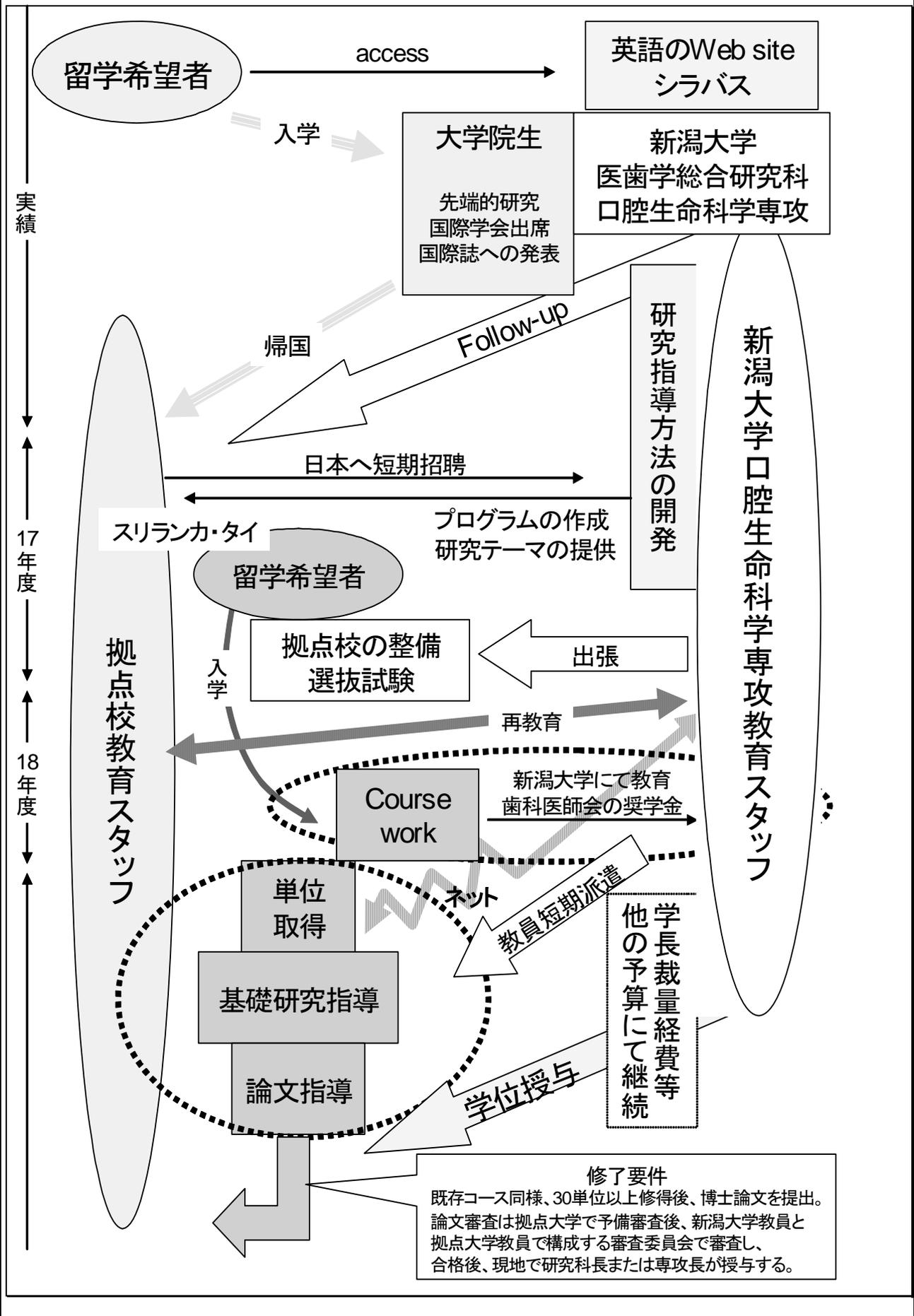
平成17年度「魅力ある大学院教育」イニシアティブ 教育プログラム及び審査結果の概要

◇「1.申請分野(系)」～「6.履修プロセスの概念図」:大学からの計画調書(平成17年7月現在)を抜粋

機 関 名	新潟大学	整理番号	c007
1. 申請分野(系)	医療系		
2. 教育プログラムの名称	留学生大学院教育の実質化による国際貢献 (留学生のための実効性を高めた大学院教育)		
3. 関連研究分野(分科) (細目・キーワード)	主なものを左から順番に記入(3つ以内) 歯学		
	主なものを左から順番に記入(5つ以内) 形態系基礎歯科学、機能系基礎歯科学、病態科学系歯学、歯科放射線学、 社会系歯学		
4. 研究科・専攻名 及び研究科長名 ([]書きで課程区分を記入、 複数の専攻で申請する場合は、 全ての研究科・専攻を記入)	(主たる研究科・専攻名) 医歯学総合研究科・口腔生命科学専攻[博士課程(一貫制)]	研究科長(取組代表者)の氏名 山本 正治	
	(その他関連する研究科・専攻名)		
5. 本事業の全体像			
5-(1) 本事業の大学全体としての位置付け(教育研究活動の充実を図るための支援・措置について)			
<p>新潟大学大学院は、学術の理論及び応用を教育研究し、その深奥を極め、又は高度の専門性が求められる職業を担うための深い学識及び卓越した能力を培い文化の進展に寄与することを目的として医歯学総合研究科を含めた6研究科で構成されており、医歯学総合研究科は先端的生命科学の教育研究に基づく成果を、医療の進展に生かす探索型医療研究を推進し、地域社会と世界の医療に貢献することを理念としている。中でも、口腔生命科学専攻は、現代社会が抱える超高齢化における健康に関するニーズに応えられる創造性豊かな研究者を養成してきているが、アジア地域における各国の口腔疾患の多さと劣悪な歯科医学の教育研究環境、日本で学んだ留学生がその知識・技術を有効発揮できない事情などに着目し、留学生に日本の歯科医学を教授すると共に、経済的負担を軽減し本学で留学生として学位を取得した現地教員に活躍の場を与え、もって国際社会の中での日本の役割の一端を果たそうとするプログラムである。</p> <p>本プロジェクトの推進により医歯学総合研究科の各専攻や他研究科、更には他大学院においてもそれぞれ国際貢献の道が拓かれるものと確信する。</p>			

機 関 名	新潟大学	整理番号	c007
<p>5-(2) これまでの教育研究活動の状況(現在まで行ってきた教育取組について)</p> <p>*シラバスのHP上での公開・英文化 → 留学生の獲得 *学位論文の国際誌への発表推進および出版費用の援助 → 教育内容の高度化、学生支援 *国際学会発表に対する経済援助 → 国際感覚の涵養、学生支援 *留学生の帰国後のフォローアップ → 大学院教育の実質化、国際貢献 *教員の教育意欲向上</p> <p>a. 指導教員の明文化 (corresponding authorとして直接指導者名を記載) b. 予算・人員配置へのインセンティブ評価導入</p>			
<p>5-(3) 魅力ある大学院教育への取組・計画(大学院教育の実質化(教育の課程の組織的展開の強化)のための具体的な教育取組及び意欲的・独創的な教育プログラムへの発展的展開のための計画について)</p> <p>口腔生命科学専攻においては、口腔の健康を「食べる」「飲み込む」「話す」「表情をつくる」などの「人間として生きて行くために必要な機能の回復・維持にある」と位置づけ、超高齢化社会に対応できる研究者および高度医療人を養成している。その実績は看護師・言語聴覚士など歯科以外の分野からも多くの学生を受け入れ、各分野で活躍する機会を創出、人材育成したことからも評価される。外国人留学生においてもこの方針に基づき研究指導を行い、多くの人材を母国に戻してきた。彼らの帰国後のフォローアップを実施して来た結果、新潟大学とアジア拠点大学と協力し、現地での大学院教育を充実させることが真の研究・教育面での国際貢献であるとの結論に至った。</p> <p>本プロジェクトでは口腔生命科学専攻で蓄積してきた高齢社会を支える研究の成果および人材育成システムをアジア地域に還元することで医療分野における国際貢献を実効性あるものにする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 交流実績のあるスリランカ・タイに拠点校を設け、口腔生命科学専攻の大学院生を受け入れる。 2. 1年間新潟大学で基礎教育した後、学生をそれぞれの国に戻しe-learningによる単位取得と、すでに新潟大学で学位を取得し帰国した拠点校の教員の研究指導の元に学位論文を完成させる。 3. 口腔生命科学専攻の教員は短期間拠点校に出向き、研究環境を整備し、研究指導にあたる拠点校の教員の再教育を実施し、本プロジェクトに参加する学生の研究指導内容について検討する。 4. 拠点校で研究指導にあたる教育スタッフに最新の研究に触れさせるために、短期間新潟に招き、口腔生命科学系に在籍する大学院生と共同研究させる。 			

6. 履修プロセスの概念図



機 関 名	新潟大学	整理番号	c007
<p data-bbox="165 199 588 232">< 審査結果の概要及び採択理由 ></p> <p data-bbox="165 295 1428 472">「魅力ある大学院教育」イニシアティブは、現代社会の新たなニーズに応えられる創造性豊かな若手研究者の養成機能の強化を図るため、大学院における意欲的かつ独創的な研究者養成に関する教育取組に対し重点的な支援を行うことにより、大学院教育の実質化（教育の課程の組織的な展開の強化）を推進することを目的としています。</p> <p data-bbox="189 490 491 521">本事業の趣旨に照らし、</p> <p data-bbox="189 535 1428 613">①大学院教育の実質化のための具体的な教育取組の方策が確立又は今後展開されることが期待できるものとなっているか</p> <p data-bbox="189 629 1225 663">②意欲的・独創的な教育プログラムへの発展的展開のための計画となっているか</p> <p data-bbox="165 678 1428 855">の2つの視点に基づき審査を行った結果、当該教育プログラムに係る所見は、大学院教育の実質化のための各項目の方策が非常に優れており、十分期待できるとともに、教育プログラムが事業の趣旨に適合しており、その実現性、一定の成果と今後の展開の面も期待できると判断され、採択となりました。</p> <p data-bbox="189 871 1206 902">なお、特に優れた点、改善を要する点等については、以下の点があげられます。</p> <p data-bbox="177 965 635 999">〔特に優れた点、改善を要する点等〕</p> <ul data-bbox="165 1014 1428 1238" style="list-style-type: none"> <li data-bbox="165 1014 1428 1144">・地域社会と国際貢献という理念に沿って、アジア留学生に焦点を当て、アジアの拠点大学と連携・協力し、教育スタッフの人材交流や拠点大学でのe-learningを通じて大学院教育を充実させようという目的が明確であり、本事業の趣旨に十分適合していると言える。 <li data-bbox="165 1160 1428 1238">・なお、教育プログラムの運用に当たり、学位の質を保証するという面で、十分配慮することが必要である。 			